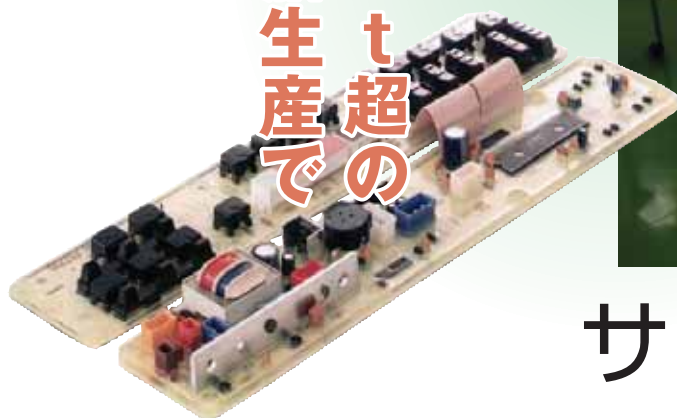


年間7000t超の ウレタン樹脂生産で 業界をリード



特殊真空印刷封止システム (VPES)

サンユレック株式会社

特殊真空印刷封止システムで 半導体パッケージングに成功

サンユレックの事業は3つの柱からなる。エポキシ樹脂やウレタン樹脂等を扱う電子材料事業、上下水道の施設ライニング塗料や建築・水処理フィルター・土木用接着剤等を扱う建設材料事業、そして、半導体封止樹脂等を扱う半導体事業だ。そのいずれもが環境保全や最新工法に対応できるユニークなものばかり。中でも十数件の特許を持つ「特殊真空印刷封止システム (VPES)」は、高機能を持ちながら、軽量短小化の半導体パッケージングに成功している。

また、耐熱性ポリウレタン樹脂防水絶縁材料は、従来の防水絶縁材料に比べて数倍の長い寿命に耐えられるほか、低温柔軟性、耐振動性、低コスト等のメリットが多く、幅広い用途で使用されている。ウレタン樹脂は今や車や電化製品に欠かせない素材。同社では高槻工場をはじめ、韓国、中国、マレーシアの各工場合わせて年間7000tを超えるウレタン樹脂を生産し、電子部品用耐熱性ポリウレタン防水絶縁材料では世界一のシェアを占めているほか、エポキシ樹脂等5つの製品で世界トップという業界のリーディングカンパニーだ。

まず1円の利益アップを目指す

「面白そうな分野であれば、何でも取り敢えず手がけてみるだけでいい」と奥野敦史社長は笑うが、確かな技術がベースにあるのは間違いない。加えて同社は特許を150件以上持ち、国際会議で論文発表する等多くの知的財産権を持つ。同社の強みは40名のエンジニアを抱え、彼らが国際会議の舞台で活躍していることだ。世界を知ることが新たなニーズの発見につながっている。

奥野社長はサンユレック勤務時代に社内ベンチャーとして現在のサンユレックの前身である日本レックを立ち上げた、ベンチャー気質の持ち主だ。「当時から知恵を出して、会社を作り上げてきました」と語る奥野社長。その取り組みは常に研究開発が中心になっている。現在は半導体パッケージ材料研究の第一人者であり、日本LED照明推進協議会の副理事長や、米国IEEEのシニアメンバーでもあり、さらに中国との関わり合いも深く、上海市の半導体照明の特別顧問や上海復旦大学微电子研究所の所長も務めるなど業界の牽引役でもある。社員にも「人間の脳は3%しか使われていないが、もっと使わないともったいない。右脳も左脳もフル活動させよう」と、ハッパをかける。その根底には、「高い信頼性のあるものは必ず受け入れられる」という思いがある。同社では防水性・耐熱性・難燃性を持つ電子部品用樹脂の製造、耐薬品性を持つ建設材料、チップやワイヤーに影響しない真空印刷封止システムによるLEDレンズ

形成工法の開発等、従来品に一步進んだ価値を必ず付け加えてきた。「社員は自分の持ち場でそれぞれの力を発揮してほしい。まず、1円の利益をアップするにはどうすればよいかを考えること。その積み重ねが大きな結果を生む」の言葉通り、同社では購買、生産、品質管理、物流、技術、管理と、それぞれが目指すものを明確にしている。地に足をつけた経営戦略とグローバルな視線を持って、サンユレックは今日も世界各地で高付加価値の製品を作り出している。

主な事業内容

エポキシ樹脂・ウレタン樹脂・U硬化樹脂等を主原料とする電気・電子絶縁材料、半導体封止材料、土木建設用接着剤、床材、防食塗料、製造・販売等



奥野敦史さん
代表取締役社長

サンユレック株式会社

Company Profile

住所 / 〒569-8558
大阪府高槻市道鶴町3-5-1
創業 / 昭和33年9月
設立 / 昭和38年9月
資本金 / 7,500万円
従業員 / 160名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-669-1231
FAX / 072-669-3893

ISO 9001
ISO 14001



<http://www.sanyu-rec.jp/>